



かぞく おうえん
ステキな家族を応援する



しやしんかん

写真館



よこはましぎのうぶんかかいかん
横浜市技能文化会館



質問です！写真館さんって
どんなおしごとなんですかっ！

写真館などのスタジオで記念写真やポートレート、証明写真を撮るのが仕事だよ。入学式、卒業式、成人式、結婚式など人生の節目のイベントに大切な子供の成長や家族の記録として記念写真を撮影するんだ。

学校の行事や式典、イベントなどへの出張撮影も行っているね。

ポーズや撮影場所を提案したり、被写体の表情や個性をひきだすために雰囲気作りをおこなうのも重要な仕事なんだよ。



しやしんかん

ところ

写真館ってどんな所？

こんかいしゅざい よこはま ねん れきし も しにせしやしんかん
今回取材させていただいたのは横浜で112年の歴史を持つ老舗写真館

まつしましやしんかん かぞくしやしん にゆうがく そつぎようしやしん せいじんしき
「松島写真館」さんです。家族写真だけでなく入学、卒業写真や成人式、

しょうめいしやしん さまざま しやしん さつえい しやしんかん
証明写真など様々な写真を撮影しています。写真館とはいったいどのよ
うなところなのでしょうか？



がいかん
外観。



しつない しやしんかん さつえい さまざま
室内。写真館で撮影された様々
な写真を展示しています。



しやしん さつえい
こちらが写真を撮影するスタジオ
です。修学旅行の撮影など外で
撮影する事もあります。

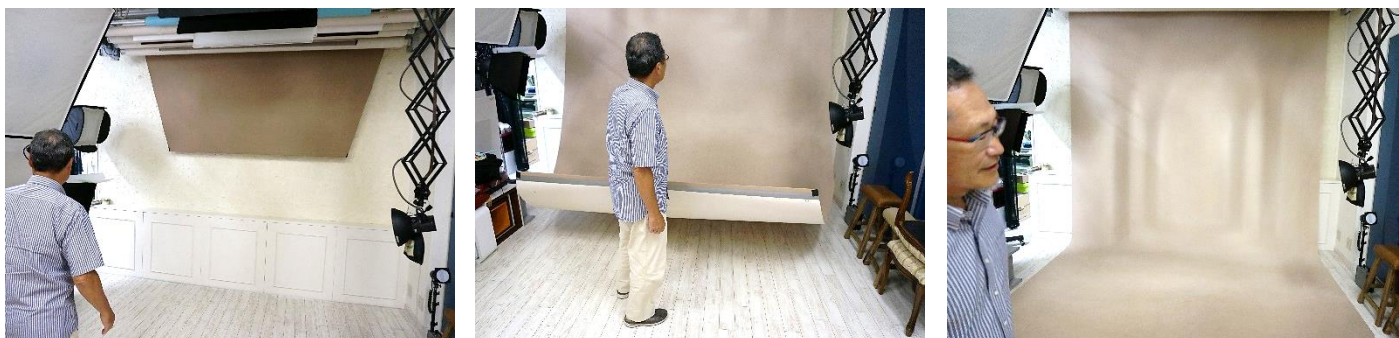


しやしんかん だいめ まつしまとしあき
写真館4代目の松島敏章さんです。



し や し ん か ん わ ざ

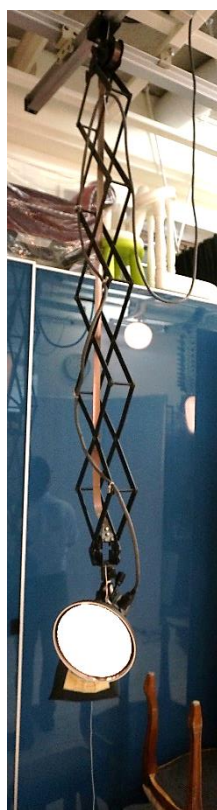
写真館の技



はいけいし じどう 背景紙が自動でおりてきます。スタジオではお客さんの用途に合わせて
さまざま はいけいし ようい 様々な背景紙が用意されています。写真に合った ふんいきづく 雰囲気作りも大切な仕事の一つ
です。



しょうめい 照明だけでもメインライト、フロントラ
イトや背景を照らすライトなど さまざま 様々な
種類があります。撮影では光の読み
かた いちばんだいじ 方が一番大事だといえます。光の当
たり具合、見え方を理解できるように
なるまでに じかん 時間がかかるそうです。



カメラは さつえいじ 撮影時、移動でき
るようになっています。

しゃしんかん どうぐ
写真館の道具①



- ① 普段撮影に使うカメラ(右)と証明
写真用カメラ(左)。
② 証明写真撮影時にはこちらのモニタ
ーで写りぐあいを確認できます。
③ ストロボ。普段は柔らかい光ですが
撮影時に強い光を放ちます。
フラッシュのことです。
④ レフ板。光を被写体に反射させます。

しゃしんかん どうぐ

写真館の道具②



さつえいよう
撮影用カメラ。様々な種類があります。



あか
赤ちゃんなどを撮影する際に豊かな
ひょうじよう ひ だ
表情を引き出すためにかわいいおも
ちやをつか
ちやを使うこともあります。



そと さつえい ばあい どうぐ せんよう
外で撮影する場合、道具を専用のバッグに入れて行きます。

ひろ
広げると大きくなる折りたたみ式のレフ板も入っています。学校の遠足や運動会と
いってイベントに撮影に出かけることもあるので写真館を利用したことの無い人
もすでに撮影してもらった事があるかもしれませんよ。





写真館の歴史



日本の写真の歴史は古く1861年に江戸で鵜飼玉川(うかいぎょくせん)さんが写真館を開業しました。1862年には長崎で上野彦馬(うえのひこま)さんが上野撮影局を開業、そして同年、下岡蓮杖(しもおかれんじょう)さんが横浜の野毛と弁天通で写真館を開業しました。それらが日本における最初期の営業写真館のはじまりといわれています。

昔のカメラは巨大で壊れやすいものだったため今のよう
に遠くまで持ち運ぶことが容易ではありませんでした。そのため自店にスタジオを用意して撮影、現像、プリントまで行えるという事がどうしても必要だったのです。それが現在の写真館になりました。

当初、写真を撮ると寿命が縮むという理由で日本人には受けが悪かった写真業ですが時代の流れと共に徐々に浸透し現代の写真文化が形成されました。

し や し ん か ん み り よ く

写真館の魅力

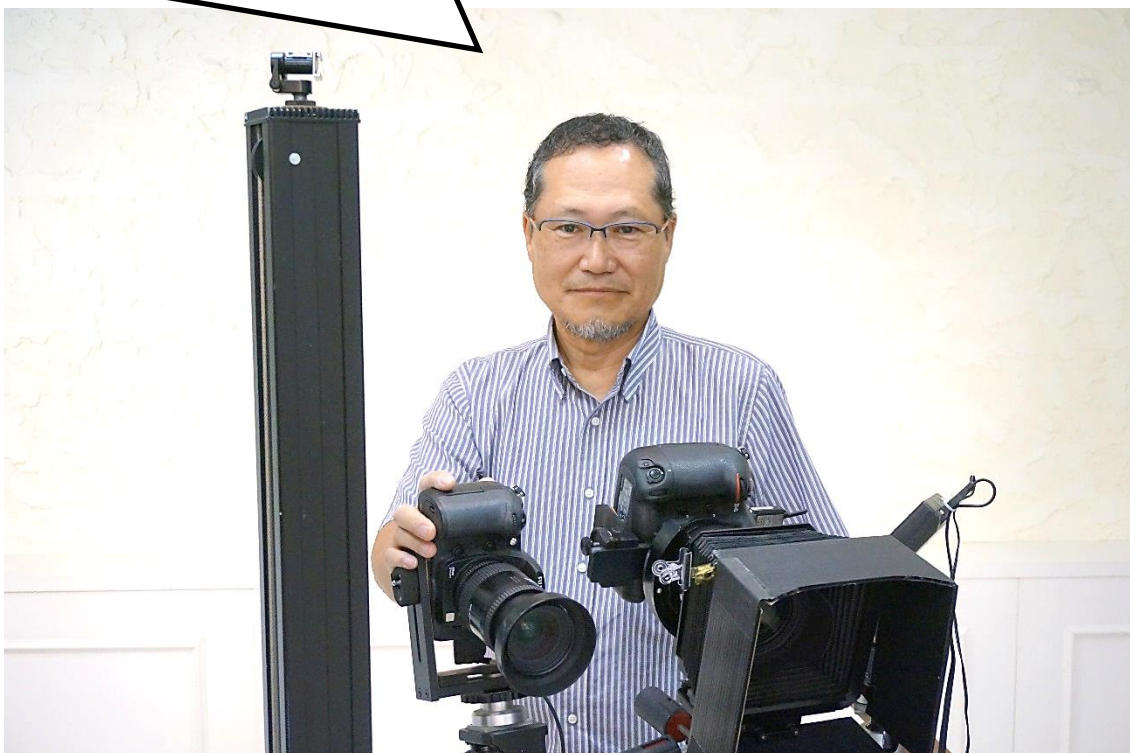
プロのカメラマンさんに仕事の面白さを聞きました！

まつしましやしんかん まつしまとしあき
☆松島写真館 松島敏章さん

仕事の魅力は、まずなんといっても創作する楽しみがあります。
作る、表現するっていうことは写真に限らないですが、やはり楽しいと
おもいます。

そして何よりお客さんが喜んでくれることに魅力を感じますね。この
仕事は直接お客さんにお会いして、撮影し、お客さんに写真をお渡し
するのでお客さんの喜びがダイレクトに私たちに伝わります。

写真館に来たお客さんの楽しさや嬉しさをいかに表現できるかが
腕のみせどころなんですよ。





しやしんかん
写真館をやるには



写真系の専門学校や芸術大学等の写真学科
で学び、その後、写真スタジオや写真館でアシ
スタントとして働いたりします。

しっかりとした写真技術の基礎を身に付ける
ことが何より大事ですが、最近では撮影機材が
デジタル化しているので、それらの知識の習得
も必要です。また撮影した画像をパソコンに取り
込んで加工したりするため、Photoshop

(フォトショップ)の知識も求められる事が増
えています。

さらに大切な事としてその人ならではの
芸術的なセンス、独自の感性を磨くことも忘れ
てはいけないといえます。

☆メ毛☆



☆メ毛☆



よこはましぎのうぶんかかいかんしていかんりしゃ
横浜市技能文化会館指定管理者
かぶしきがいしゃあしたぼ はっこう
株式会社明日葉 発行

〒231-0031 よこはましなかくぼんだいちよう 横浜市中区万代町2-4-7

<https://gibun.jp>

2023年版